

食の卓 周辺の

過ぎしやす
い季節になり
ました。今、
わが家の前庭
のあちこちは、
ツワブキの真

黄色の花で一杯です。レンガ敷きの
通路の両側にも咲いていて、歩いて
いて気持ちが和みます。カボスの木
も一本植わっていて、今年はそのす
ごくたくさん実がなりました。早い
時期から、皆さんに差し上げていた
のですが一向に減りません。色づい
た実を付けたままのカボスの木が可
哀想になり、今日は、高枝機で頑張
ってもぎました。みかん箱に一杯、
少しでも新鮮なうちにと、早速宅配
便で送り出しました。受け取られた
方のご迷惑も考えずに、「一度にこん
なにたくさん！」と思われることと
しよう。

*

10月17日、18日の両日、「第19回
くまもとお話の交流会」を荒尾市で
開催いたしました。「文庫とお話の会
連絡会くまもと」が主催しての交流

会ですが、地元、荒尾市の実行委員
会の皆さんが本当に良くお世話して
くださいました。

おかげさまで、子どもと大人の参
加者が400人を超え大盛会でした。
講師依頼、子どもゆめ基金への事
業助成申請書作成、各種団体への後
援申請、パンフレットやチケット作
成、印刷などの仕事は、熊本子ども
の本の研究会事務局が担当しまし
た。その後は、荒尾市の実行委員の
皆様方が会合を重ね、準備を進め
られました。

毎年、交流会の開催地は変わり、
それぞれの土地の良さがあります。
荒尾の実行委員の皆様方は、お話し
の進め方をよく熟知しておられ、い
い雰囲気のお話会になりました。
交流会活動の趣旨は、熊本県内で
読書活動しておられる子ども文庫と
お話のグループが交流を深め、読書
推進を図ることで、九州管内全
域に広報いたしましたところ、九州
全県からのご参加がありました。お
かげで県外の方の素敵なお話も聴く
ことができ、内容の充実した交流

会となりました。

*

『研究会』の来年度の計画につい
ては、現在、各例会の世話人を中心
に検討中です。講師の先生方が、快
くお引き受けくださいましたときは、
ホッと安堵します。子どもゆめ基金
への申請期限は12月5日。これから
事業計画書を月末までに作成、子ど
もゆめ基金に提出する仕事が続いて
います。

私は現在、「昔話を楽しむ九州沖縄
交流会」と「くまもとお話の交流会」
の代表をしている関係上、実績報告
書を子どもゆめ基金に提出する際、
それぞれの担当者から資料が送られ
てきます。それらに目を通してチェ
ックしていますが、会計担当の方は
本当に大変です。

『初苗』25号発行の第1回目編
集会議を明日(9日)いたします。12
月末発行予定。『初苗』のことが気
になっておりましたら、岩波書店宣
部の佐藤様からお電話をいただき、
恐縮し、有難く感謝いたしました。

*

しなければならぬことが次々と
あることは有難いことだと思えます。
亡き息子の四十九日のご挨拶でお送
りする追憶文は、先週印刷に回しま
した。毎週花屋に通い、元気になる
ように努めております。(横田)

■編集 松元明美・横田幸子

熊本子どもの本の研究会 発行
〒861-8029
熊本市西原一丁目一五の二四
T/F 096-382-5090